

令和3年度

第51回関東中学校バスケットボール大会

COVID-19感染拡大予防ガイドライン



令和3年度

第51回関東中学校バスケットボール大会実行委員会

はじめに

参加する選手及びベンチスタッフ・大会役員、関係者全員の安全・安心の確保を最優先事項と考え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を講じた上で大会を開催する。なお、具体的な感染拡大防止対策については別途定めることとし、事前の留意事項や感染者が発生した場合の対応、事後の留意事項などとともに、参加者及び関係者全員に周知徹底するものとする。

1. 参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。(大会当日に書面にて確認)
 - ◇ 体調が整わない(例：発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合)
 - ◇ 新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触が認められる
 - ◇ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる
 - ◇ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該存在者との濃厚接触が認められる
- 出場校の選手、引率責任者等は、大会前後2週間分(計4週間分)の体調を【様式1】体調記録表に記録し、健康管理を徹底すること。
- マスクを持参すること。(受付時や更衣時、移動等の競技を行っていない際や会話をする際には必ずマスクを着用すること。また、予備のマスクも準備すること。)
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を徹底すること。
- 他の会場利用者、施設管理者、大会役員等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。(介助が必要な場合を除く)
- 大きな声での会話や応援をしないこと。
- 感染防止のために施設管理者、主催者が定めた措置を遵守すること。
- 試合に関わる全ての者(大会役員、審判、指導者、選手)は、大会前後2週間分(計4週間分)の行動を、【様式4】行動履歴書に記録し、保管しておくこと。
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無について報告すること。
- 参加前に新型コロナウイルス接触確認アプリCOCOAを利用しておくこと。会場にて「いばらきあまびえちゃん」の登録をする。
(いばらきアマビエちゃん登録のQRコードや案内を会場入口、受付に掲示する)

2. 選手、引率者等及び大会関係者の入場、受付に関して

- 試合会場への入場はベンチメンバー(引率責任者1名、コーチ1名、Aコーチ1名、マネージャー1名、選手15名)の19名以内とする。保護者は15名以内とする。
- 各校の引率責任者を感染症対策責任者とし、コーチ、Aコーチ、選手の体調を把握する。引率責任者がチームメンバーの【様式1】体調記録表と【様式4】行動履歴書を保管すること。また、【様式2】学校同行者体調記録表を、引率責任者がチーム受付に提出すること。
- 第1試合に出場するチームの受付時間は8時30分とする。第2試合以降に出場するチームの受付時間は、当該試合開始のおおよそ2時間前とする。

- 入場の際は、入り口に設置してある非接触型自動検温器で必ず検温を受けること。
- 体調記録表の記入に不備がある場合は、その場で確認（検温等）を行う。
- 手洗い、手指消毒を徹底すること。
- 試合会場に入場する保護者代表者は、【様式3】保護者体調記録一覧表を当該試合予定時刻15分前にチーム受付に提出する。提出後、保護者代表者は提出人数分のIDカードを受け取る。保護者は試合後、退場するため、試合毎に【様式3】保護者体調記録一覧表を提出すること。
- チーム応援の入場は保護者のみで15名までとする。応援の保護者は試合ごとに入れ替える。入場・退場については大会役員の指示に従うこと。

3. 出場チームへのお願い

- 出場チームの引率責任者は、大会に参加する選手及び保護者に対し、参加にあたっての注意事項等を事前に説明し、【様式5】同意書を提出させること。（学校にて保管すること）
- 他校との交流を控えること。（更衣室や通路など接近せざるを得ない状況においてはマスクを着用し、会話は控えること）
- チームで出たゴミは全て持ち帰ること。
- 大会期間中、試合会場や宿舎等、全ての場所において選手と応援の保護者との接触を極力避けること。
- 試合前後に対戦チーム、審判等との握手はしない。対戦チームベンチへの挨拶を行う場合は、距離を確保して行うこと。
- 選手同士で手をつないだり、肩を組んだりして行う円陣やハイタッチ等は行わないこと。
- ベンチではマスクを着用し、大きな声での応援、会話は控えること。
- 手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参すること。トイレや手洗い場に必ず持参すること。
- 衣類は個人で管理し、タオルやボトルを共用しないこと。
- 会場内で食事をとる場合は、指示された場所を守り、できるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう選手同士の間隔を取り、対面を避け、会話を控えること。
- 試合終了後は速やかに退場すること。スカウティングのために事前の来場及び、試合後の観戦は禁止とする。

4. 大会運営に関して

- 無観客での開催とする。会場に入場を認められた者には、受付にてIDカードを発行する。
- 開会式は実施しない。第1日の第1試合前に開始式を行う。
- 会場の出入り口等に消毒スプレーを設置する。
- チームベンチは、できるだけ2メートル（最低1メートル）空け、選手同士が間隔をとれるようにする。
- 新型コロナウイルス感染予防と熱中症予防の取り組みとして、メディカルタイムアウトを実施する。
- 大会期間中、選手や引率者等に体調不良が見られる場合、大会本部に申し出るよう入場時に確認を促す。
- 手洗い場に「手洗いは30秒以上」、「マイタオル持参」の掲示をする。
- 試合間にTO席及びベンチのアルコール消毒を行う。
- 試合が終わったチームは速やかに退場するよう促す。
- 閉会式は実施しない。簡略化した閉式行事を行う。

- 提出を求める【様式2】学校同行者体調記録表，【様式3】保護者体調記録一覧表，【様式6】来場者体調記録表は，大会終了後，1か月を目安に大会事務局が保管・管理し，その後は適正に破棄する。

5. 大会開催時の体調不良者発生時の対応について

- 入場時，受付時での体調不良者発生時の対応について
 - ◇ 体調記録表の提出内容を以下のポイントで確認
 - ・発熱や風邪の症状等の有無
 - ・当日の検温記録，体調記録表の記入漏れの有無
 - ◇ 確認ポイントにおいて症状や記入の不備がある場合は，入場，受付を取りやめる。記入の不備については，不足項目の確認（検温）を行う。
 - ◇ 体調不良者（例：風邪の症状，倦怠感，味覚や嗅覚の異常など）または症状が確認された者については，大会実行委員会に報告の上，帰宅（または帰宿）を促し，各自医療機関を受診するよう伝える。
- 大会期間中の体調不良発生時の対応について
 - ◇ 出場チームの選手や引率者に風邪の症状（発熱，咳，鼻汁，咽頭痛，頭痛等）や倦怠感，味覚や嗅覚の異常など，新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合，そのチームの大会参加を認めず，棄権とする。
 - ◇ 対戦した相手チームに風邪の症状（発熱，咳，鼻汁，咽頭痛，頭痛等）や倦怠感，味覚や嗅覚の異常など，新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合，そのチームの大会参加を認めず，棄権とすることもあり得る。
 - ◇ チーム内において，体調不良者（例：発熱，咳，咽頭痛，倦怠感，味覚や嗅覚の異常など）または症状が確認された場合は，大会実行委員会に報告を行う。
 - ◇ 大会実行委員会は，状況を開催地実行委員会と関東中体連競技部に報告し，緊急性も含め，救護所の看護師らの指示に従う。
 - ◇ 診察の結果，新型コロナウイルス感染が疑われる場合は，速やかに医療機関や保健所の指示に従い，適切に対応する。
- 症状があり，帰宅を促す際の対象者への案内
 - ◇ 体調記録表に挙げられた項目の症状が続く場合，必ず最寄りの保健所，診療所等に報告・相談する。
 - ◇ 症状が続かなくとも，弱い症状だと思っても同様，最寄りの保健所，診療所等に報告・相談する。
- 感染の疑いがある場合の相談窓口
 - ◇ 厚生労働省新型コロナウイルス相談窓口
電話：0120-565653
 - ◇ 茨城県新型コロナウイルス受診相談窓口
電話：029-301-3200